

# 地域公共交通に係る政策動向

---

令和4年3月9日

中国運輸局交通政策部交通企画課

# 緊急事態宣言下でも運行継続が求められた公共交通

公共交通は、政府の「基本的対処方針※」において、緊急事態宣言下においても国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者として事業の継続が求められ、運行を継続（休業要請の対象外）。

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（新型コロナウイルス感染症対策本部決定）

- ▶ コロナ対策を担う医療関係者など、国民の命と暮らしを守る方々、経済活動を支える方々の移動手段として社会に貢献
- ▶ 利用者の感染予防のため、車内での混雑を生じないように運行するとともに、車内の消毒や換気など感染症対策の取組を徹底
- ▶ 従業員の方々についても、マスクの着用や手洗いなど感染リスクを減らすための取組、検温等による体調確認などを徹底



つばめ交通(株)提供



広島電鉄(株)提供



江田島バス(株)提供



国際両備フェリー(株)提供

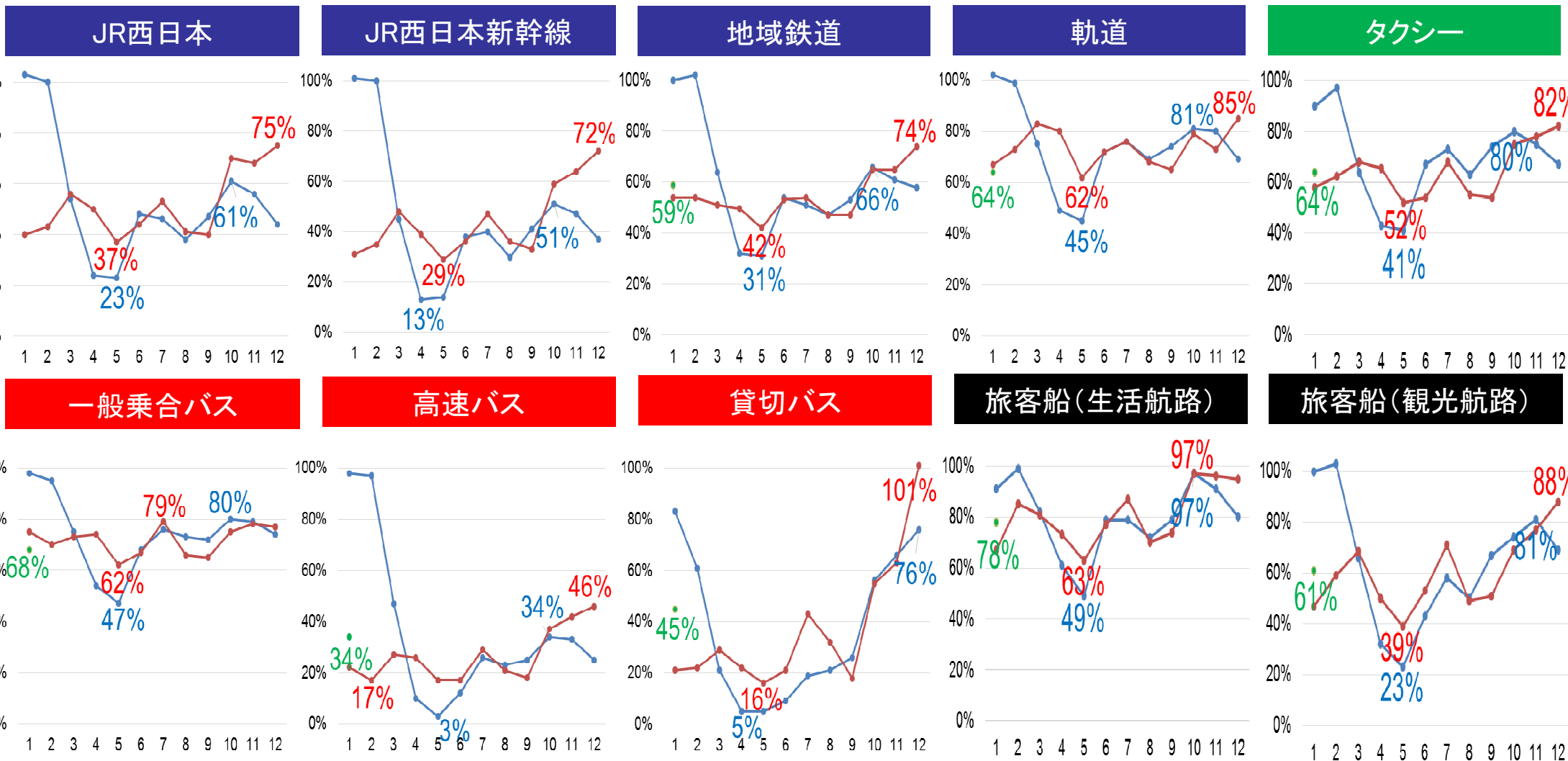


瀬戸内海汽船(株)提供

# 中国運輸局管内の状況 (新型コロナウイルス感染症関連)

## 運送収入(令和元年同月比)

青線: R2/R元    赤線: R3/R元    緑線: R4/R元



※1: 各事業者団体等調査結果より集計。一部特異なデータは除いて集計。

※2: JR西日本及びJR西日本新幹線の運送収入は広島支社の合計。

※3: 調査対象事業者数: 地域鉄道6社、軌道4社、一般乗合バス28社、高速バス16社、貸切バス8社、タクシー27社、旅客船80社

# 地域公共交通活性化再生法の制定・改正の変遷

平成  
19年  
制定

- ✓ 平成19年に地域公共交通活性化再生法を制定し、市町村が主体となって幅広い関係者の参加による協議会を設置。
- ✓ 「地域公共交通総合連携計画」の策定を通じて、地域公共交通の維持・確保や利便性向上に取り組むことを促進する制度を整備。

平成  
26年  
改正

- ✓ ①まちづくりと連携（コンパクト・プラス・ネットワーク）、②面的な公共交通ネットワークを再構築を図るため、「地域公共交通網形成計画」を法定計画として規定。
- ✓ バス路線の再編等を実施する「地域公共交通再編事業」を創設し、その実施計画について国が認定し、法律・予算の特例措置を適用することにより、計画の実現を後押しする制度を整備。

令和  
2年  
改正

- ✓ 地域公共交通網形成計画を「地域公共交通計画」と改め、地方公共団体の作成を努力義務として規定。
- ✓ 「地域旅客運送サービス継続事業」、「地域公共交通利便増進事業」等を創設し、地域における移動手段の確保や地域公共交通の充実を図る制度を整備。



路線バス (地域間幹線等)



需要規模に応じた  
効率的・効果的な運行

定時定路線

目的地への一定の輸送ニーズ (通学・通院等) を束ねることで効率的にサービスを提供できる。

デマンド型

利用者の輸送ニーズに応じて、運行ルートや乗降場所を柔軟に設定できる。



コミュニティバス  
(定時定路線又はデマンド型)



乗合タクシー  
(デマンド型)



タクシー  
(乗用)



バス・タクシーによるサービスの提供が困難な場合

自家用有償旅客運送  
(市町村自ら又はN P O等による運行)



スクールバス、福祉輸送、病院・商業施設等の送迎サービス等の積極的活用





国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure,  
Transport and Tourism

## アフターコロナ時代の地域交通の方向性を研究します

～「ひと」の「暮らし」の充実の観点から、政策をリ・デザインする～

国土交通省は、危機に直面する地域交通について、感染症を契機に人々の暮らしをめぐる環境や価値観も大きく変わる中、地域づくりへの寄与など、地域交通の持つ価値や役割を見つめ直すべく、地域の人々の暮らしのニーズが反映された多様な関係者の「共創」の実践などに取り組む研究会を設置します。



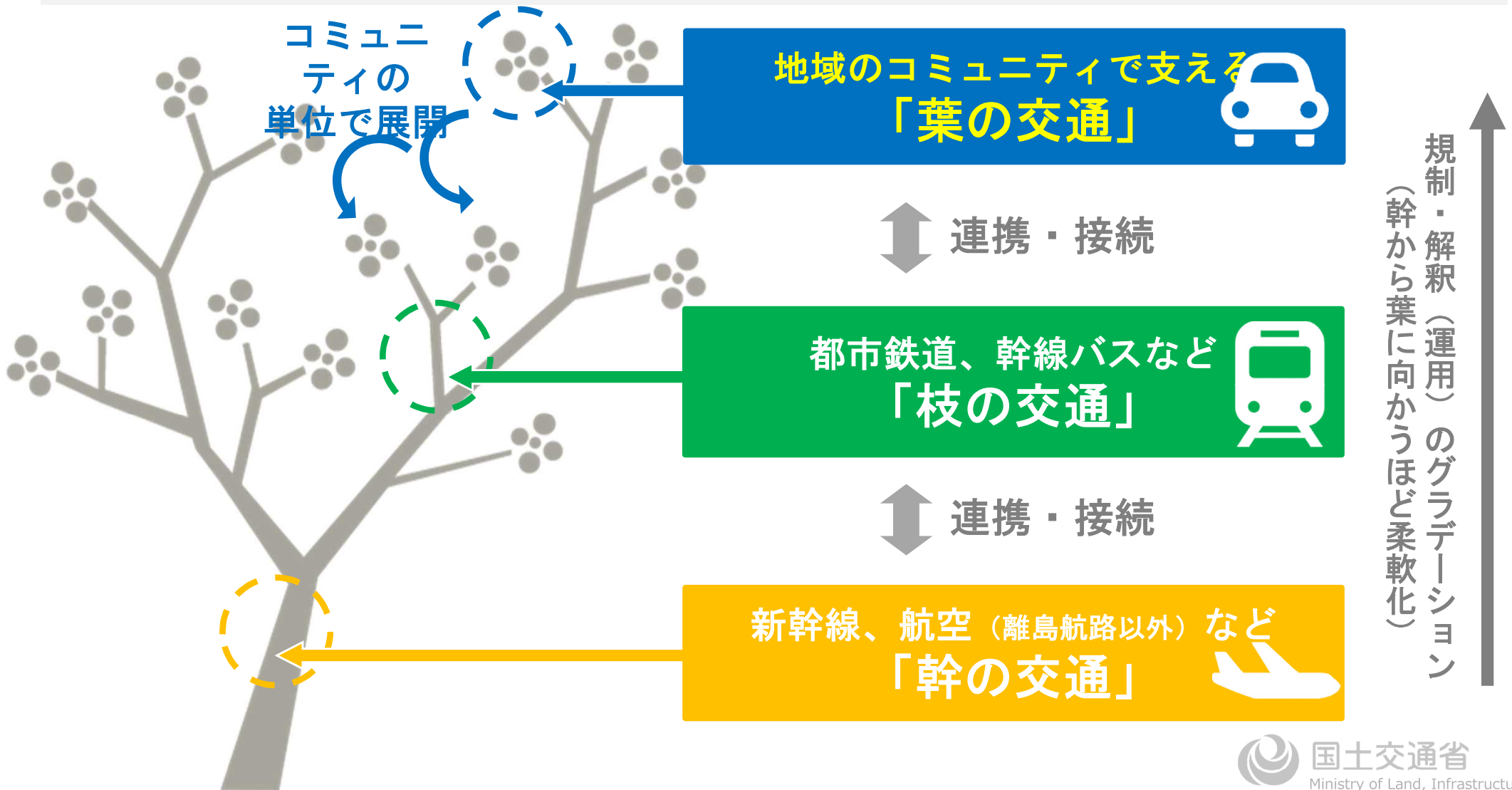
以下の3つの視点で、これまでの地域交通をとらえなおす必要があるのではないか。

- ① 教育、エネルギー、住宅、食料などと同じような  
ベーシックインフラ、またはセーフティネットの視点
- ② ウェルビーイングなど地域の「ひと」の「くらし」の充実の視点
- ③ 事業運営をソーシャルビジネスとして捉える  
産業政策・地域経済政策の視点



# 規模感に応じた主体の区分

交通モード別でなく **物理的な地域の規模感別に応じた分類**により、**地域交通のあり方とその主たる担い手を捉え直し、政策のリ・デザイン**を行う。





主として「葉の交通」を地域の「ひと」の「暮らし」からのベクトルで考える。

## ◎ **ファーストワンマイル** ←×ラストワンマイル

(例) 医療・介護、教育、エネルギー、住宅など 「暮らし」に関わるあらゆるビジネス領域や各種のコミュニティとの「協働・共創」 について

(例) 持続可能な 地域内ファイナンス・地域内経済循環について

(例) 多様化する小型モビリティも含めた 交通モードのベストミックス について

(例) 地域の創意工夫を誘発する 制度運用の柔軟化 について

(例) 住民のニーズを満たすためのMaaSなど テクノロジー・データ活用 について

